

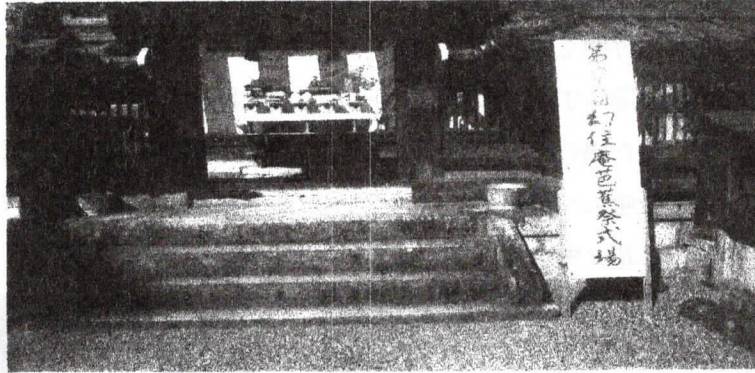
# 幻住庵保勝会だより

令和4年10月吉日 保勝会員 328名



平成幻住庵の模型 森脇旭一氏 作

## 来年こそはの願いを込めて第88回幻住庵芭蕉祭



地元有志の方々の並々ならぬ熱意により昭和10年から始められた伝統ある幻住庵芭蕉祭もここ2年間コロナの影響で規模を縮小した変則的な形でしか実施できませんでした。今回で88回目を迎える今年こそは正規の形でやろうと、年度当初から着々と準備、計画を進めて来ました。

しかし、8月に入るとコロナ感染者が急増しはじめ、第7波に突入し、これでは多人数の参加者による完全な形での芭蕉祭は到底無理だと判断し、残念ながら今年も参加人数を限定した縮小形の実施を決断せざるをえなくなりました。そうした事を踏まえ、第88回幻住庵芭蕉祭は10月2日(日)10:00より事務局員と各町の理事の皆さんの出席のもと神事みの式典をさせて頂きました。たまたま、県外から来庵された方や地元の参拝者が興味深げに式の様子を見学しておられました。

本来ですと第1部の式典のあと、第2部として幻住庵俳句コンクールの年間優秀賞の表彰式を実施するのですが、これは中止し、今年も入賞者には賞状と副賞を郵送させて頂きました。

なお、一般の部の幻住庵俳句コンクール特別賞と、少年の部の芭蕉祭俳句大会の優秀賞はラミネート加工した短冊を、その他 小学6年生の全作品は短冊にして庵周辺や境内、参道、せせらぎ道などの木々に吊るしてあります。また、中学生の全作品は「幻住庵跡碑」横の掲示板(びわこ大津観光協会より寄贈)に掲示してありますので、是非、折りをみてこれらをご覧になって頂ければと思います。

松尾芭蕉が残してくれた貴重な文化財(幻住庵)を大津市の支援のもと地域住民一人一人が後世にしっかり引継ぎ護持して行く事は、私たち国分住民に課せられた使命であると思っています。

3年続きで変則型の実施を余儀なくされた芭蕉祭、来年こそは正規の形に戻せることを願いつつ、今後とも皆様方の変わらぬご支援・ご協力をよろしくお願い致します。(保勝会会長 陌間 實)

### 芭蕉祭俳句大会年間優秀作品表彰 (年間投句数 県内613 県外261 計874句)

大津市長賞	『鬼百合に鬼を探して幼子と』	矢部 祥子	(京都市東山区)
大津市議会議長賞	『叡山の闇動き出す年あらた』	丸岡 正男	(大津市柳川1)
びわこ大津観光協会会長賞	『児の寝顔三つ並んで天の川』	伊豆 益一	(宇治市小倉町)
京都新聞賞	『春風の覗いてゆきぬ乳母車』	圓井 公子	(大津市柳川1)
幻住庵保勝会長賞	『食パンに何もつけない原爆忌』	田中 文子	(大津市別保2)

### 芭蕉祭少年俳句優秀作品表彰 (小学校156,中学校300, 計456句)

大津市長賞	『遠花火家族みんなで耳すます』	晴嵐小6年(村田 仁奈)
-------	-----------------	--------------